

## 6月第2例会挨拶並びに年次報告

会長 岡本和明

会員の皆様、本日のさよなら例会にご出席いただきありがとうございます。  
ついにこの日がやってまいりました。会長としての最後の挨拶の日です。

本年度会長テーマを『協働』とさせていただき、アクティビティスローガンを『次世代に引き継がれる社会奉仕を』とさせていただきました。

一人での社会奉仕には限界があるが、社会奉仕という「共通の目的」を持ったメンバーとなら「コミュニケーション」を行いながら有意義な社会奉仕ができればと考えたからです。また、アクティビティスローガンは、地域社会の方々に我々ライオンクラブの奉仕活動をより理解していただき、次世代に引き継がれる社会奉仕ができればと考えたからです。

本年度は厳しい予算の中でのクラブ運営となりました。継続事業を見直し、必要な継続事業を行いながら、西脇北高等学校と西脇高等学校のボランティア活動資金援助を行いました。

保健奉仕事業では、平成26年10月及び平成27年5月に国際ソロプチミストかずぎ野様の協力で献血奉仕事業を実施し、多くの市民の方々から献血をしていただきました。

YCE事業では冬期派遣学生事業と冬期来日学生受入事業を実施することができました。L宮崎春貴には急な来日学生受入を引き受けていただきありがとうございました。

8月に起きました丹波市豪雨災害に対する支援活動では、10月に会員皆様からいただきました丹波市災害復興義援金を、クラブを代表して幹事L平田滋と共に6R1Z ZCL 廣岡靖にお届けいたしました。翌日には335-A地区のHPにアップされている事に驚きました。また、11月には雨の中、丹波市災害復興支援チャリティバザーを開催し、市民の方々からいただきました多額の義援金を、幹事L平田滋、6R1Z ZCL 廣岡靖と共に辻重五郎丹波市長にお渡しいたしました。会員の皆様、本当にご協力ありがとうございました。

12月の家族謝恩例会では、昨年まで秋に実施しておりましたLL旅行を本年度は私の提案を計画大会委員会で検討していただき、アンケート実施後中止とさせていただきましたので、LLの皆様には感謝の気持ちを込めて、花束を贈呈させていただきました。

重要な案件といたしましては、会員数の減少と各事業員会活動をより活発に行うため、12月に内規の見直しを行い、会員出席委員会と財務委員会を統合し名称を会員・会則・財務委員会と改め、計画委員会、PR情報委員会と共に第1副会長の監理とし、保健奉仕委員会と社会奉仕委員会を統合し名称を奉仕委

員会と改め、YCE委員会と共に第2副会長の監理とする委員会編成と第3副会長の廃止を決定させていただきました。

平成27年2月には、第3副会長L田中功を中心として市内3高等学校協働奉仕作業を行い、第7回西脇多可新人高校駅伝競走大会に花を添えました。同時に、ぜんざい炊き出し奉仕事業も実施し、完売いたしました。これらの活動で地区における対外PRコンテストに応募したところ、複合地区にて対外PRコンテスト優秀賞を受賞いたしました。会員の皆様に感謝いたします。

少し長くなりますが、こうして無事年次報告をさせていただける喜びとは別にお話したいかと躊躇しておりますお願いが一つございます。

この日を迎えた私として会員の皆様に、我が西脇ライオンズクラブの今後に向けた提案をお願い申し上げたいと思います。

多くの会員の皆様をご存知かもしれませんが、今年のガバナー公式訪問の際に開かれました懇談会で当地区での第2副地区ガバナー擁立のお話がありました。11月後半には3R1ZZCL前野、2ZZCL高木より呼びかけがあり、当西脇ライオンズクラブから候補者を擁立できませんか、と要請がありました。その際は「検討させてください。無理であればL高木に連絡させていただきます。」と回答させていただきました。翌日にはガバナーL小暮敏郎から直接候補者選考に関するご助言のお電話もいただきました。幹事L平田と共に会長経験者数名の方に相談の上、候補者の方々に面談させていただきお願いいたしましたが、体調面や仕事上の理由からお断りの回答をいただきました。お一人の方には引き受けて頂ければ協力すると言われるメンバー数名同伴で再度のお願いをいたしました。残念ながらお断りの回答でした。12月中頃この旨をZCL高木に報告させていただきました。その後の経緯をご存知の会員の方々も多くおられると思います。

私がお願い申し上げたいのは、ライオン歴が私より先輩の方で実際にキャビネット構成員の経験者の方は現在何名おられるでしょうか。私より後のメンバーは当然ながらキャビネットは無関係と感じておられると思います。

3R2Zでただ一人の元地区ガバナーL在田一雄から終身会員の申請がでています。今すぐではなく今後5年、10年、20年後西脇ライオンズクラブからガバナーを擁立できればと考えますが、間違っておりますでしょうか。ただ、現状ではライオン歴が若い方も多く、ガバナー？ キャビネット？ という言葉の理解やその役職の重さを現実のものとして理解できていないのは、私も含めて皆様同じと考えています。

できますれば、指導力育成委員会を中心に将来のガバナー候補者、キャビネット構成を見据えた勉強会の設立をお願いしたいと考えております。現状の会員数であれば、当然3R2Zの他クラブとの連携がなければいけない重要な問題

です。

しかし今後 10 年、20 年後にもガバナーが擁立できた折に、あの時から先輩方が勉強会を継続して行っていただいていたおかげで、少し不安はあったがガバナーが擁立できキャビネット構成ができます、と言ってもらえるようになればいいのに、とここ数ヶ月考えておりました。

この思いを会員の皆様に伝えるにはこの日しかないと思い、お叱りを受けるのを覚悟で申し上げさせていただきました。

どうかご検討のほどを宜しくお願い申し上げ、年次報告と最後の会長挨拶をさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。